

# 大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 株式会社宣伝会議御名前 谷口 優 様

## 1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

- フィジカルとサイバー空間の融合した世界を目指すなら、万博の会場内での AR や MR 活用だけでなく、その場に行けない人たちにも、会場外から万博を体感できる VR コンテンツを用意したらどうか。
- 今、マーケティングでは人の「気持ち」「感情」に向き合うことがとても大事になっている。商品の同質化が進む中では技術・性能で圧倒するのではなく、想いや志に共感・共鳴されることの方に価値があったりする。万博には「技術で圧倒」(左脳訴求)ではなく、共感・共鳴される(右脳訴求)ようなコンテンツがあるとよいと思う。  
➤人の感情をテクノロジーでコントロールすることはできないが、可視化することは可能だし、その可視化が新しい価値を生むこともある。
- 日本企業は多くの技術・シーズを抱えていても、そこから社会にとっての価値をつくる事業化、商品化・サービス化に弱さを持っているように感じる。世界から多くの人が集まる万博という場、さらに共創、未来社会の実験場と銘打つ、大阪・関西万博が、日本企業にとってのオープンイノベーションの場(日本の技術に世界のアイデアが加わって、社会課題を解決する新事業開発)になればよいと思う。
- 万博の開催前も含めて関西エリアを世界との交流の場にすることはできないか。例えば、関西エリアの教育機関や大手企業の協力を得、世界からの「巨大インターンシップ受け入れ」などができないか。  
➤万博期間中、海外からたくさんのお客さまがやってくると、住民も対応できるか不安になるのでは。事前のおもてなし対応、準備期間になるのではないか。
- 2025年の万国博覧会は、国や地域を超えた、「万人」のための博覧会になったらよいと思う。
- 経済価値だけでは測れない「幸福」「幸せ」とは何か。先進国は特に、次の「豊かさ」のものさしが見つからなくなっていると思う。「技術・テクノロジー+アルファ」の観点で、身体だけでなく心の健康さをいかに実現するか。この「プラスアルファ」の部分の提案があることを期待したい。

## 2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs 達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- 大阪・関西万博が「未来の実証実験」の場を目指しているなら、万博後にその実証実験の成果が残るような仕掛けを期待したい。例えば世界各国から 2800 万人の来場が見込まれる万博。その場で、未来の医療や健康の技術開発につながる身体に関わるデータ提供について来場者から協力得ることができないか。  
➤「来場者 2800 万人の協力(データ提供)が、未来の社会の健康問題を解決する」といった趣向。特に日本に対しては、今後、健康・医療領域におけるデータ利活用で世界をけん引していく期待を持っているので。

- 日本は未来の世界が抱えるであろう、課題のショーケースのような国と思う。SDGs の取り組みは必須として、その先に起こるであろう「課題」の提示とその解決策も見せることができれば、日本発で先進国における課題解決のモデルケースを提示できるのでないか。
  - 米国や仏発のコスメやラグジュアリーブランドのロゴには「PARIS」や「NEWYORK」といった名称がつくことが多い。それは、その都市が世界的にブランド化しているということの証のように思う。万博終了後、世界において「OSAKA」がブランド化するような成果を残せないか。  
➤万博前から「大阪エリア」の企業が集まり「OSAKA」世界ブランドプロジェクトを行うなどはできないか。(万博終了後に「OSAKA」が世界ブランド化していれば、地域の企業が自由に無料で使える地域資源となる)。
  - 万博史上、もっとも「〇〇」な万博、の〇〇に入る言葉を考えられないか。  
➤「もっとも待ち時間が少ない」とか「もっとも開始時間が早い(暑さ対策)とか」…。ドバイはハードウェア面の世界一が多い国と思うので、ソフト面の世界一で日本らしさを出す。
  - 大阪は総じてサービス業態の接客が早く、非常に能力が高いと思う(大阪で店舗に入ると、ストレスがない)。あのオペレーション力の高さが万博会場の運営に生かされるとよい。
  - 「もったいない」「おもてなし」に続く、大阪ならではの「日本語(かつ関西弁)」が世界に発信できる機会にならないか。(関西弁にしかない言葉だとよい)
  - 大阪・関西の場合、ゼロから万博をつくるのではなく、すでに万博の熱狂を体感したファンがいる。1970年当時の関係者がインフルエンサーとなり、2025年開催を盛り上げるようなことができないか。
  - SDGs で提示されている課題だけでなく、一人ひとりが日常の中で解決してもらいたい「課題」はたくさんある(かつ、その解決が幸せの実現につながったりする)。世界の英知が集まる「万博」で、社会全体の課題だけでなく、一人ひとりが持つ課題について世界の最先端の技術で解決策を提示してもらえないか。(世界の英知が解決する「お悩み相談」)
  - 開催までに、いかに周囲を巻き込めるか。完成までのプロセスを公開すると、そこに人が参加をしたくなったりする。完成形を見せるのではなく、完成までのプロセスを開示していくようなコミュニケーションをしたらよいのではないか。
  - 会場が自然と調和した、人工的ではない空間のように思えるので、身体を動かす機会・場があってもよいと思う。健康の基本にあるのは「身体を動かす」ことだと思うし、老若男女問わず、その人、それぞれにとって心地よい運動の経験・体験(それぞれテクノロジーも使って)を提供できるコンテンツがあったらどうか。
3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。  
(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)
- 「海の豊かさ」も「緑の豊かさ」も体感できるのが日本、そして関西・大阪の良と思うので、会場設計には、その魅力を体感できる空間づくりを期待したい。
4. そのほか、御自由に御意見をお願いします。